

協同組合 千葉電友会だより

創刊号
11/1
昭和61年(1986)



祝 辞

千葉市長 松井 旭

この度、協同組合千葉電友会では「千葉電友会だより」を創刊されますこと、心からお祝いを申しあげます。

電友会の皆様には、日頃より一致団結され業界の発展に努められるとともに、技術の研鑽に励まれ、大きな成果をおさめていることご同慶のいたりであります。

特に、著しい技術革新の昨今、皆様の熱心な向上心にもとづく高度な技術の修得は、市民生活の向上に大きく貢献するものであり、誠にありがたく心強く存じているのであります。

私達のまち千葉市は、市民皆様のたゆみない努力により、県都として、また首都圏の中核都市として着実に発展し、現在では人口も80万になんなんとし、全国で第12番目の大都市にまで成長いたしております。

このような中で、本市はこれまで「ゆとりと活力ある都市づくり」を目標とする第3次5ヶ年計画に基づき、総合的かつ計画的に市政を展開し、市民生活の向上と都市の秩序ある発展のため努力を続け、一応の成果をおさめることができたのであります。

しかしながら、ここきて「高齢化」「国際化」「高度情報化」という新しい時代の要請が一段と明らかとなり、加えて首都機能の一翼を担う業務核都市として位置づけられるなど、市政を取り巻く社会経済情勢は大きく変動いたしているのであります。

このような新たな社会情勢に適切に対応した市政運営を推進するため、昭和62年度よりスタートさせる予定でありました「第4次5ヶ年計画」を1年繰りあげ、本年度より実施しているのであります。

私は、この計画の中で新たな時代の要請と

昭和67年を目途とする政令指定都市移行という大きな節目に対処して、大都市にふさわしい都市基盤の整備、都市機能の充実に努めるとともに、魅力と活力ある都市づくりを進めて参りたいと存じております。

また、同時に豊かな緑と水辺を活かした住みよい環境づくりを推進するほか、市民の要望の多い保健衛生、福祉、教育、文化、コミュニティの振興など、市民参加のまちづくりに積極的に取り組み市民福祉の向上を図って参る所存であります。

本市は、今、21世紀に向けて大きく飛躍しようといたしております。

本年3月には、長い懸案でありました京葉線が一部開通し、新駅を核とした新しいまちづくりが進められ、また県ならびに地元経済界と協力し進めております幕張メッセ計画も第3セクターの設立など、実現に向けて具体化し、幕張新都心計画は大きく前進をいたしました。

更に、6月15日には千葉港のシンボル「ポートタワー」が完成し、臨港プロムナード、ポートパークの整備等により、千葉港は県民、市民に親しまれる新たなレクリエーションゾーンとして変貌いたします。

このほか、都市モノレールをはじめ中心商店街、並びに国鉄千葉駅周辺再開発事業の推進、千葉球場の建設等、大プロジェクトの完成を図って参る所存であります。

しかしながら、複雑多様化する現代社会において、都市行政を取り巻く環境はますます厳しさを増してきているわけです。このような時こそ求められるものは、市政と市民をつなぐ信頼の絆であり、長期的かつ総合的視野に立った都市づくりの推進であります。

目次	千葉市長祝辞-----	1
	創刊にあたって-----	2
	下請負代金支払の適正化等-----	3
	経営者講習会開催-----	4
	共同企業体受注対策委員会報告-----	4

	会務報告-----	5
	第3回電友会ゴルフ大会-----	6
	千葉電友会組織表-----	7
	お知らせ・会員の広場-----	8
	入札結果報告-----	9. 10

どうか電友会の皆様には、このような市政の現況をご理解いただき、今後とも郷土発展のため一層のご支援、ご協力をお願い申しあげます。

おわりに、協同組合千葉電友会の今後益々のご隆盛と会員各位のご活躍、ご健勝を心から祈念申しあげ、私のお祝いのご挨拶といたします。



創刊にあたって

協同組合 千葉電友会
理事長 柴谷 新太郎

天高く馬肥ゆる秋を迎えまして、1年中で一番しのぎやすい季節となりました。御尊社皆様一段と御活躍のこととお慶び申し上げます。

この度、弊組合では“千葉電友会だより”を創刊することになり、官庁、関連業界よりの通達、要請、連絡又は組合員、或は組合近況報告等を通じて組合員相互のコミュニケーションを計り、又健全経営に務められている皆様にお役にたてればと思っております。

今日まで幾多の困難を克服してまいりました協同組合千葉電友会———

顧みますと、昭和40年5月任意団体として千葉市電友会を設立、当初会員17社にてスタート致しました。特に工事の共同請負、資材共同購入、技術の向上を目的として発足、その後徐々に工事発注量も増え、それに伴い会員数の増加、高度経済成長のなか千葉市電友会も躍進してまいりました。

しかしながら、昭和48年秋の第一次オイルショックによる戦後初めてと言われる不況にみまわれました。産業界全般に亘る不況の中、我々電気工事業界も電設資材、特にケーブル類の不足等で苦境にたたされ、国会デモまで行ったことを忘れることは出来ません。

更に、第二次オイルショックにも遭遇し、世の中も低成長時代へと変遷してまいりました。そんななか、我々会員自身も低成長化に対応すべく、経営基盤の強化を初めとする技術の研鑽、会員団結、発注当局との折衝等により活路を見い出してきました。

その後、千葉市の大きな施策として、政令

指定都市移行計画が発表されるや、会員一同、大きな期待を胸にしました。

そこで、当組合として、対外折衝強化の爲にも法人化の必要性に迫られ、関係方面の御支援のもと、昭和60年1月協同組合千葉電友会の設立認可を頂いたのであります。

ここ数年来、或は今後予想される公共工事量の減少にかんがみ、組合として、本年3月大型工事の共同企業体方式(JV)による発注に特段のご配慮を頂くべく、千葉市長に陳情してまいりました。

千葉市御当局による地元業者の苦境を理解いただき、8月念願のJV方式による発注の英断を下されたこと、厚く御礼申し上げます。又昭和67年度を目標とする政令指定都市移行に伴い、都市基盤の整備、教育、文化等の充実を主策とする第四次五ヶ年計画が実施されるなか、電気設備工事を通じて、市民生活に貢献しなければならないと責任を痛感していると同時に、大きな期待を寄せているところであります。

ここで、紙上をおかりし、発足から今日まで千葉市御当局の組合に対する温情ある御支援、御協力頂いたことを、ここに深謝する次第でございます。これからも千葉市の発展無くしては我々組合の飛躍はないものと確信いたしております。どうか、変らぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

おわりに、組合員各位の益々のご繁栄を祈念し、創刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

下請負代金支払の適正化等及び「下請業者選定通知書」の提出について

千葉市長

先に9月24日付にて千葉市契約課より下請負代金支払の適正化等について周知徹底方要請を受け、皆様にも既に通知したところであります。組合員においては、従来より実施されていることと存じますが、ここにあらためて掲載し、互いの安定経営の為にも、更に適正化に努められるようお願い申し上げます。

1 下請代金支払の適正化等について

- (1) 工事の全部又は大部分を一括して他の建設業者に請負わせないこと。
- (2) 建設資材を購入する場合、資材納入業者の利益を不当に害することのないよう公正な取引の確保に努めること。
- (3) 元請業者は、下請業者が倒産、資金繰りの悪化等により下請工事の施工に関し、再下請負人労働者等の関係者に対し請負代金及び賃金の不払等を生じさせることのないよう十分配慮すること。
- (4) 下請代金は現金払いを原則とし、手形を併用するときでも現金比率を高め、手形期間はできるだけ短くすること。
- (5) 工事の開始に先だて、下請業者との契約を締結するときは、適正な下請負条件によることに留意し、工事内容、工事代金額、前払金を含む支払条件等を明記した契約書を取り交わすこと。
- (6) 下請業者及び資材納入業者は、できる

だけ市内業者を使用するよう努めること。

- (7) 下請業者選定に当たっては、施工能力、雇用管理及び労働福祉等の状況を総合的に勘案して優良な業者を選定すること。
- (8) 上記のほか建設業法及び関係法令に留意し適正な施工管理に十分配慮すること。

2 「下請業者選定通知書」の提出について

- (1) 請負金額900万円以上の本市発注工事（電気、管、電気通信又はさく井工事については300万円以上のもの、）について、その一部を下請けさせるときは「下請業者選定通知書」（別紙様式）をすみやかに工事担当課に提出すること。
なお請負金額900万円未満の工事についても下請業者選定通知書を提出させることがある。

(2) 実施月日

昭和61年10月1日以降に契約したのから実施する。

経 営 講 演 会 開 催

組合事業の一環として本年度2回目の経営講演会が、去る10月21日午後3時よりちば共済会館にて開催されました。講師として県中小企業団体中央会特別相談員で中小企業診断士の坂本康男先生を迎え“これからの経営者”と題し講演が行われ、約50名出席、全員熱心に聞き入り好評のうちに終了した。

ひきつづき、千葉市設備課清水課長より契約事務、工事に関する指示等の説明がありました。終了後、懇親会に移り一層の親睦を深めた。



熱心に聞きいる会員諸氏

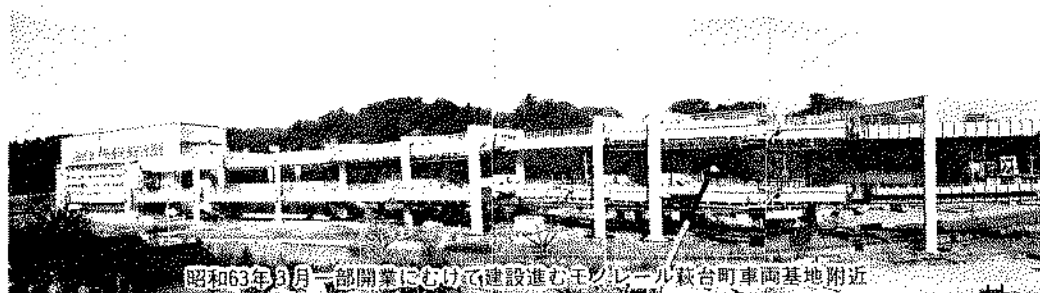
委員会 共同企業体受注対策委員会 報 告

ここ数年来の公共工事及民間設備の長期に亘る低迷、ここにきて円高不況等により建設関連業界は不況にたたされております。当組合としても、近隣自治体でもすでにJ・V方式発注が実施されている現状でもあり、数年前より千葉市御当局へ大型工事の分割又は共同企業体方式(J・V)の発注について要請をしておりました。本年3月、千葉市の政令指定都市への移行等に伴い予想される大型物件の発注についても極力組合員の受注機会の増拡大等、特段の御配慮をいただくべく染谷理事長他役員にて市長へ陳情を致しました。又我々業界自身、それなりの対応として、J・V受注対策委員会の設置、あるいは勉強会等重ねてまいり最近ようやく気運が高まり市長をはじめ財政部、建築部等関連部局の暖かい御支援を賜わり、

待望のJ・V工事の第一弾(動物公園主要動物舎等新築)が発注され住友電設・橋本電業社・南電業共同企業体が受注出来たこと感謝致す次第です。経過概略次の通り。60年11月26日市コミュニティセンター会議室に於て市設備課、社団法人千葉電業協会、当組合の三者の会合にはじまりその後当組合が窓口となり千葉市給排水業者の団体水親会とも共同にて11月11日、11月29日、12月5日と財政部契約課、建築部設備課とも協議打合せをもった。61年3月6日千葉市長に対し陳情書提出、さらに7月21日財政部、建築部へ出向き再度理解を求めた。当委員会の電気設備工事における共同企業体運営試案の内容概要については7月10日付千葉県建設新聞に既報の通り。なお、委員は次の通り(敬称略) 染谷新太郎・岩崎興二・喜多村賢一郎・山川庄治・南修治・小川重二・小泉嘉規・小幡陽一以上8名

会 務 報 告

61. 4. 5 当組合理事 堀口道二氏の告別式参列(博全社桜木斎場にて理事長他役員)
4. 9 役員会開催 総会準備、事務関係等協議
4. 23 第3回通常総会開催
(1) 於ちば共済会館37名出席
会務報告及新年度会務の承認、他会費改定の承認
(2) 総会終了後、中小企業診断士による経営者講演会開催、のち懇親会
5. 8 61年度第1回役員会
(1) 役員の仕事分担の決定
(2) J V委員会発足(委員8名選任)
(3) 総会費報告他
5. 21 第1回J V委員会開催 建設工事共同企業体に関する諸問題について
6. 3 第2回J V委員会開催
6. 13 第3回J V委員会開催
6. 19 第4回J V委員会開催
6. 24 役員会開催
(1) J V委員会の中継報告
(2) 本年度事業の打合
(3) 備品(複写機)の購入検討
(4) 中小企業者全国大会参加(今年是不参加)及千葉県観光協会よりの稲毛の浜花火大会(寄付金2万円支出)他暑中見舞い広告等も検討承認
7. 2 第5回J V委員会開催 組合員に対しての試案内容のとりまとめ、その他
7. 9 組合員(格付A業者)に対する J V委員会にて作成の試案説明会開催(於白雲荘)28社出席
7. 21 柴谷理事長、岩崎副理事長千葉市財政部、建築部及設備課へ向う
8. 1 建設省計画局通達に基づく地域住宅相談運動の実施について(千葉市建築部より案内)の協議会に出席し於ちば共済会館、理事長、山川理事出席)
8. 6 役員会開催
(1) 組合員への事務、業務等の広報のための仮称千葉電友会だよりの発行を決定(総務部担当)
(2) 本年度事業予定の経営講演会実施決定(事業部担当)
(3) 今期残の定期役員会の日程決定
8. 8 千葉県中小企業団体中央会より61年度監査指導のため錦織氏来所(理事長、喜多村理事、桜田理事立合)
9. 2 役員会開催
経営講演会の詳細打合及び電友会だよりの編集委員選任(役員より4名)
9. 7 当組合理事 高梨修氏の告別式参列(鋸南町保田の自宅にて理事長他役員)
9. 20 千葉電友会だより発行のため編集会議開催
10. 7 役員会開催 講演会、会報の件、その他事務関係打合
10. 28 臨時役員会開催 塩崎信一氏の叙勲祝賀パーティーの件討議



昭和63年3月一部開業にむけて建設進むエコーレール秋台町車庫基地附近

第3回 電友会ゴルフ大会 /

優勝杯 滝口氏に！

千葉電友会 会員内で(仮称)ゴルフ同好会が出来ております。春、秋、年2回ということで今回で早3回目を迎えました。染谷理事長より、個人出資の優勝杯をご寄付頂き、現在持ちまわりでコンペを行い、会員も順次増え現在23名ほど、今は電友会未公認ですが来年度から会公認とし、予算化を考慮中です。ゴルフを通じて、会員同志のより良いコミ

ュニケーションの場となるよう願っております。次回(61. 1月末頃)のおさそいにはぜひ御参加下さい。

第3回大会 組合せ及び競技結果は次の通りです。

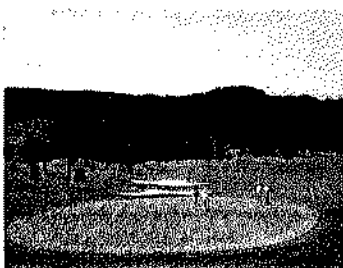
場所 房総カントリークラブ (長生郡睦沢町)

※組合わせ表

1組	S T. 9. 24	宮崎実	増田健	安藤文隆	欠
2組	S T. 9. 30	山本勝男	高本仁大	鈴木弾政	欠
3組	S T. 9. 36	伊藤征司	滝口勝征	欠	高橋喜代雄
4組	S T. 9. 42	藤沼清一	長谷部昭雄	塩崎俊雄	久保昭雄
5組	S T. 9. 48				

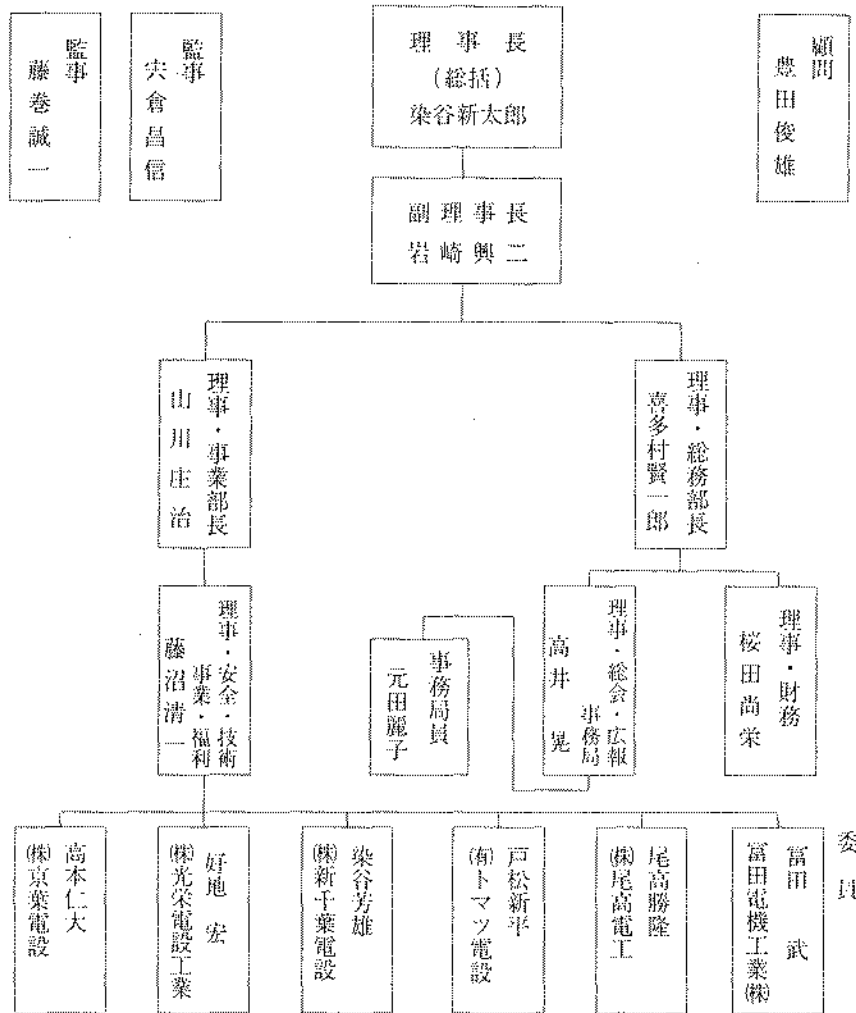
※参加者(成績順、敬称略)

		(HDPC)			
1	滝口勝征	滝口電気工業	17	40	46
2	宮崎実	宮崎電工	14	42	44
3	安藤文隆	安藤電気工事	25	47	50
4	藤沼清一	藤沼電設	16	46	44
5	伊藤征司	伊藤電業	10	44	46
6	久保昭雄	北陽電機産業	28	60	52
7	高本仁大	京葉電設	25	56	54
8	塩崎俊雄	共和電気工業	25	60	50
9	山本勝生	大信電業	15	52	50
10	鈴木弾政	東電工	28	59	59
11	増田健	増田電気工業所	20	51	60
B, B	長谷部明男	協同電業社	18	57	54
13	高橋喜代雄	石本電設工業	34	65	61



房総C・Cコース

協同組合 千葉電友会組織図

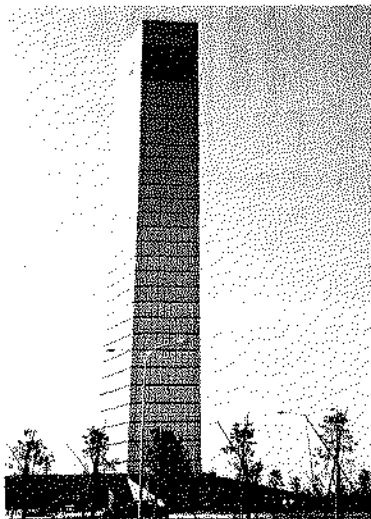


役員名

理事長	柴谷新太郎	株式会社柴谷電気商会
副理事長	岩崎興二	千葉県田電気株式会社
理事	山川庄治	山栄電機株式会社
〃	喜多村賢一郎	千葉電気工事株式会社
〃	桜田尚栄	株式会社桜田電設
〃	高井晃	株式会社橋本電業社
〃	藤沼清一	藤沼電設株式会社
監事	宍倉昌信	昌信電気工事株式会社
〃	藤巻誠一	片岡電工株式会社
顧問	豊田俊雄	豊田電気株式会社

お知らせ

- ◆ 千葉県地域ぐるみ福祉振興基金への協力（組合）方お願い。
福祉社会の実現に向けて地域ぐるみ参加協力。（9月5日付千葉県中小企業団体中央会より）
- ◆ 指導者育成講習会（組合）開催について
・10月30日
現在会社制度の改正する為の作業が進められており、既に骨子等が公表されております。この改正概要等、又関係法令についての講習で組合より理事出席しました。（9月25日付 千葉県中小企業団体中央会より）
- ◆ 法令等の遵守の徹底について
労働安全衛生確保のための建設業労働災害防止協会（建防災）への加入促進、建設業法、道路交通関係法、危険物関係法令、独禁法令等関係法令の遵守について強い要請がありました。（10月1日付千葉県知事通達——社団法人 千葉電業協会より）
- ◆ 共和電気工業(株)代表取締役塩崎信一氏の叙勲祝賀会開催
11月27日千葉ニューパークホテルにおいて予定されています。当組合でも協賛団体となっていますので、多数の御出席をお願いします。



6月5日オープンし、新しく千葉市のシンボルとなった千葉ポートタワー

会員の広場



- ◎(株)橋本電業社 本社移転及び電話番号の変更（4月30日付）
新所在地＝千葉市長作町1387番地2、電話0472(59)8411。
- ◎京葉富士電機(株) 本社移転及び電話番号の変更（5月6日付）
新所在地＝千葉市末広4丁目20番1号、電話0472(61)6111。
- ◎アイシン電気工事(株) 組織変更（8月18日付） 有限会社を株式会社に変更。
- ◎南電業(株)、北斗電業(株)の御両者が当組合に復帰されました。
- ◎(株)水沼電業社代表取締役石井久夫氏が10月12日御結婚。染谷理事長出席し、お祝金を贈呈。
- ◎共和電気工業(株)代表取締役塩崎信一氏にたいし、秋（11月）の叙勲で「勲五等瑞宝章」受賞の内示がありました。

計報

- 堀口道二氏（(株)堀口電気商会専務取締役、当組合理事） 4月3日交通事故のため入院先の病院で死亡、54才。
- 高梨修氏（東陽電気工事(株)営業部長、当組合理事） 9月5日入院先の病院で病死、50才。
御両者にたいし、組合発展の功績を感謝し、告別式には会長他多数出席し、組合より弔慰金及び花環を贈り哀悼の意を表しました。
- (有)滝口電気工業 滝口社長の御子息が8月8日部活動中死亡され、組合より弔慰金を贈り哀悼の意を表しました。

入札結果報告

(61.4.1~9.30 100万以上)
事務局調べ 単位千円)

61. 4. 24	葛城中学校仮設校舎移築他 電気設備工事 4,750 昌信電気工事	設備工事 4,400 滝 口電気工業
5. 9	土気小学校プール循環ポン プ幹線改修工事 2,120 北電業社	7. 11 都賀中学校増築電気設備工 事 2,170 光栄電設 工業
5. 23	塩田学校給食センター受変 電設備改修工事 20,200 堀口電気商会	7. 11 星久喜小学校屋内運動場ス テージ取設電気設備工事 2,420 千秋電気
5. 29	小倉小学校消火ポンプ改修 電気設備工事 1,730 桜田電設	7. 11 桜木小学校屋内運動場ス テージ取設電気設備工事 2,380 大西電設
6. 5	山王小学校消火ポンプ幹線 改修工事 2,100 武田電気工事店	7. 17 鶴沢小学校散水電気設備工 事 1,410 水沼電業 社
6. 13	市庁舎他5ヶ所模写電送機 器設備工事 3,050 成田電機商会	7. 17 園生小学校散水電気設備工 事 2,900 トマツ電 設
6. 13	加曾利貝塚博物館、冷暖房 電源設備工事 2,600 双葉電設	7. 17 磯辺第二小学校散水電気設 備工事 2,350 宮崎 電工
6. 13	稲毛海浜公園電気設備配管 工事 2,000 新千葉 電設	7. 17 松ヶ丘中学校散水電気設備 工事 2,450 千葉電 建
6. 13	競輪場第一休憩所改築及び テント取設電気幹線切廻し 工事 6,100 豊田電 気	7. 17 大宮小学校散水電気設備工 事 2,190 吉田電設
6. 13	大宮下水処理場水位計設置 工事 1,500 白河電 設	7. 17 千城台南中学校散水電気設 備工事 2,700 桜田 電設
6. 19	矢作町地内照明灯設置工事 2,450 京葉電設	7. 17 花見川第一中学校散水電気 設備工事 2,020 黒 田電気商会
6. 19	仮称千葉市消防局特別救助 隊庁舎新築電気工事 23,950 尾高電工	7. 17 幕張西中学校屋内運動場ス テージ取設電気設備工事 2,400 大東電設
6. 19	動物公園管理事務所新築電 気設備工事 67,300 増田電気工業所	7. 17 真砂第一中学校散水電気設 備工事 2,200 西千 葉電設
6. 26	動物公園北口ゲート及び便 所新築電気設備工事 5,700 伊藤電業	7. 24 白井小学校屋内運動場ス テージ取設電気設備工事 2,680 北進電設
7. 11	千城台北小学校給食室改築 電気設備工事 3,000 旭電工	7. 24 千葉みなと駅西口広場照明 灯設置工事 12,400 染 谷電気商会
7. 11	緑町小学校給食室改装電気	8. 2 あやめ台小学校屋内運動場 ステージ取設電気設備工事 2,400 新千葉電設

- | | | | |
|-------|--|-------|---|
| 8. 7 | 西小仲台小学校屋内運動場
ステージ取設電気設備工事
2,350 白河電設 | 9. 4 | 花見川第一小学校屋内運動
場ステージ取設電気設備工
事 3,600 染谷電気
商会 |
| 8. 7 | 幸町第二保育所電灯増設工
事 3,400 双葉電設 | 9. 11 | 草野中学校屋内運動場ステ
ージ取設電気設備工事
2,550 小松電業社 |
| 8. 7 | 稲丘小学校屋内運動場ステ
ージ取設電気設備工事
2,420 安藤電気工事 | 9. 11 | 憤橋市民運動場外灯設備改
修工事 3,650 トマ
ツ電設 |
| 8. 7 | 宮野木小学校屋内運動場ス
テージ取設電気設備工事
2,600 黒田電気商会 | 9. 11 | 真砂第一中学校屋内運動場
ステージ取設電気設備工事
2,600 京葉電設 |
| 8. 7 | 花園照明灯交換工事
7,650 成田電機商会 | 9. 11 | 花見川第二小学校屋内運動
場ステージ取設電気設備工
事 2,480 武田電気
工事店 |
| 8. 7 | 寒川小学校電灯設備工事
5,200 水沼電業社 | 9. 11 | 市民会館電気設備改修工事
20,000 アイシン電気工
事 |
| 8. 13 | 動物公園主要動物舎電気設
備工事 228,000 住
友・南電業・橋本電業社 | 9. 11 | 緑町保育所改修電気設備工
事 6,300 新千葉電
設 |
| 8. 21 | 千城台北小学校屋内運動場
ステージ取設電気設備工事
2,340 桜田電設 | 9. 19 | 都賀小学校屋内運動場ステ
ージ取設電気設備工事
3,400 光栄電設工業 |
| 8. 21 | 幸町第一小学校屋内運動場
ステージ取設電気設備工事
2,370 千都防災工業 | 9. 19 | 椿森中学校特別教室改築電
気設備工事 8,550
京葉電設 |
| 8. 21 | 千城台西小学校屋内運動場
ステージ取設電気設備工事
2,400 旭電工 | 9. 19 | 葛城中学校特別教室改築電
気設備工事 8,140
昌信電機工事 |
| 8. 21 | 幸町第二小学校屋内運動場
ステージ取設電気設備工事
2,400 大東電設 | | |
| 8. 21 | 千葉競輪場第一休憩場改築
電気設備工事 8,290
豊田電気 | | |
| 8. 21 | 千葉市朝ヶ丘公民館電気設
備工事 7,910 前田 | | |
- (以上受注金額計 会員 522,210 非
会員 14,410 計 536,620)

編集後記

秋もだんだん深くなってまいり、朝夕寒さを感じる季節となりました。

電友会だより創刊につきましましては、急な企画のため、また各編集委員共多忙のなかの素人編集につき、出来ばえについてはご容赦下さい。定期的に発行を予定しておりますので、次回より皆様からの最新情報、短歌、俳句類等何でもけっこうですので事務所までご一報頂き、組合員の機関誌として徐々に充実させ、ご期待にそなうよう頑張りたいと思っておりますので、ぜひとも皆様のご協力をお願い申し上げます。

創刊に当り、千葉市長、松井旭様のご祝辞を頂き、心より感謝申し上げます。なお、写真に付しましては、桜田電設桜田社長（10月22日撮影）、ゴルフ成績及び写真は宮崎電工宮崎社長、それぞれ提供いただきありがとうございます。（喜多村）

協同組合	千葉電友会だより創刊号
発行	昭和61年11月1日
発行所	協同組合千葉電友会 千葉市黒砂1-5-14
編集人	山川 庄 治 喜多村 賢一郎 桜田 尚 栄 藤 卷 誠 一
印刷所	新柳印刷(株)